

# 令和5年度 事業計画

## 1. 基本方針（理事長：窪田 茂）

2020年に始まったコロナパンデミックも、いよいよ終わりが見え始め、令和5年度からはリアルでの活動が本格化しそうですので、JCDの活動がコロナ以前よりも、さらに活発なものにしていきたいと思っております。

という事で、令和5年度のテーマは、「JCDの再活性化」を掲げます。

リアルイベントの積極的な開催をしつつ、前回の理事会で承認されたアンバサダー制度の準備とスタート、JCD内の顕彰仕組みを検討していき、今まで以上に魅力的なデザイン団体を目指して参ります。そうする事で、JCDのメンバーになりたい、なっていて良かったと思えるような仕組みづくりを進めます。

さらに、全国の支部間の関係をさらに強化させ、支部イベントなどに積極的なサポートをして参ります。これを地方支部での会員獲得のきっかけづくりに繋げたいと考えております。

全国支部長会議と総会は、全国持ち回りとなりますので、支部の会員増強、発展の為に、うまく活用して頂きたいと思っております。

また、JCDに入会している若手会員を積極的に担ぎ出し、次の担い手を育てていく事が、今後のJCDを活性化させる為に重要なことですので、皆様からも積極的な声掛けと、手助けをお願い致します。

海外や他団体との関係強化、連携が必要そうな時期に来ておりますので、状況を見極めながら次の一歩を踏み出したいと思っております。

## 2. 主要事業計画の概要

### (1) 事業部（部長：大滝道晴）

#### ■事業部全体の目標

##### 1. 若い年代の組織参加

○正会員、賛助会員を問わず、組織参加を促す。

##### 2. 前年度同様に、より一層の組織の活性化を目指し、JCDが“奥行きのある団体”、“新しい発想力”のある団体として、組織のジャンルを超えた人材を取り込むことを目指して行く。

EX. <建築、インテリア以外の人材では>

○プランナー、学校講師 etc

○プロダクトデザイナー（インダストリアル含む）、

○グラフィックデザイナー(\*DTP、編集含む)

○アーティスト

○映像、カメラ(写真家) etc

3. 事業部各委員会は、「新しい取り組み準備」、「地に着いた活動目標」等の検討を促す。

○各委員会の活動テーマの更なる見える化を推進 etc

○予算と経費の適正化及び費用対効果。

① デザイン賞委員会(委員長:笠原英里子)

令和5年度は応募数増強を最大目的とし、応募前の告知活動を強化し、日本国内だけでなく中国、香港、台湾などアジアの国々にも告知をしていく。

日本空間デザイン賞2023はコロナ前のスケジュールに戻し事業を進める。

以下はあくまでも仮の日程

○2023年1月18日令和5年度日本空間デザイン賞委員会キックオフミーティング

これ以降、月一回の定例会議とする。

○2月中三次審査員の決定

○2022年3月31日(金)~5月15日(月)公募期間

○5月29日一次審査員への審査方法説明(リモート)

○6月1日(木)~9日(金)WEB一次審査

(審査員Aグループ30名、Bグループ30名、Cグループ30名、合計90名)

専門性を強めた審査員構成とする。

○6月14日(水)一次審査後事前チェック

○6月17日(土)一次審査調整会議 Longlistを決定。20日Longlist速報

○6月26日(月)~7月4日(火)WEB二次審査

(審査員Aグループ8名、Bグループ10名、Cグループ10名、理事9名、合計34名)

○7月6日(木)二次審査事前チェック

○7月8日(土)二次審査調整会議 Short Listを決定。11日Shortlist速報

○7月13日(木)~31日(月) Short List受賞者のA2ボード2枚製作期間

○8月3日(木)~21日(月)三次WEB審査

○8月26日(土)三次・最終審査 11ジャンル各々に金賞、銀賞、銅賞を選出

場所は五反田東京デザインセンター、ライブ配信を行う。同日、非公開で金賞11作品からKUKAN

OF THE YEAR 1~3作品を選出。発表は後日贈賞式において行う。

○10月20日(金) 贈賞式及び懇親会 場所は未定

●iFデザイン賞(ドイツ)との双方の連携、特典の設定を推し進めていく。

中国 IDPA との告知連携協力を検討中。

- 受賞者は年鑑に掲載予定
- GOOD DESIGN MARUNOUCHI において KUKAN DESIGN AWARD 2023 展を開催  
トークイベント、懇親会を計画
- 「デザインツーリズム視察ツアー」が両協会の会員メリットとなるように活動の輪を広げていく。

#### ② Soda 委員会（委員長：新藤 力）

令和 5 年度は社会生活が再開の方向にありますが、まだまだマインドは慎重です。Soda 委員会はこの 3 年間、工夫をしながらなんとか事故なくワークショップを継続的に実施してまいりました。また昨年度は「旧校舎ありがとう!!プロジェクト」において“実物大の Soda/実寸の空間装飾”という新しいフェーズに挑戦し、これを DSA さんとの協働という形で成功させることができました。「新しい課題への挑戦」「他団体との協働」、このことは Soda 委員会にとって大きな経験となりました。今後も全国での継続的な活動を目指しながら、Soda 活動の可能性を模索していきたいと考えています。

#### ③ シンポジウム委員会（委員長：飯島直樹）

2023 年度は以下を委員会の活動方針とする。

1. SECTION は引き続き「その時代のデザインクリエイティブの断面 (SECTION) を探る」シンポジウムを開催する。多くのデザイン領域が抱える 20 世紀的モデルとの離脱の状況、そこに生じる新しいクリエイティブ発掘を目指したい。
2. タカハシツキイチは二ヶ月ごとの開催を目指す。会場を外部に確保し、新しい視聴者獲得も検討する。数多くのツキイチアーカイブを生かす方法も検討したい（展覧会や、一堂に会する交流会など）。
3. これらの活動の発信、伝達を検討する。（機関紙 SHOKANKYO と連携し発信するなど）

#### ④ 広報委員会（委員長：水谷晶人）

- 1) 前年に引き続き、それぞれにコミットした SNS の更新、パンフレットの発刊を予定しています。
- 2) 「SHOKANKYO087」の発刊を予定しています。
- 3) SNSの発信のシステム化を予定しています。
- 4) 「PR TIMES」を使用した広報活動を予定。
- 5) クラウドサーバーの活用のマニュアル化を予定。

⑤ 国際委員会（委員長：武石正宣）

来年度からは海外渡航やイベントに対する参加。またコロナ禍で開催出来なかった EG の開催を模索するなど、リアルな活動が出来るように考えています。

また会員に対して、海外の信頼できるアワードの情報発信なども考えます。

⑥ 賛助委員会（委員長：羽隅斉明）

1. プロダクト・オブ・ザ・イヤー2023

令和4年度同様に5月頃からエントリーを開始。一次審査（予選）、二次審査（本選）で開催し二次審査はリアル+Web配信、表彰式は賀詞交換会が望ましい。月1回の賛助委員会に加え、分科会など開き、二次審査の会場なども含め詳細を詰めていく。

またエントリー時には受賞、入賞の場合はジャパンショップへの出展に費用がかかる旨なども案内する。

収支に関しては5万4千円程度、赤字の状況。今後新たな取り組みもできず、解消策が必要であり、応募数自体が減少しない程度に応募料を上げる。また全国賛助、支部賛助も同額とする。金額は3月の賛助委員会で決定する。

また賛助企業以外からの募集（POYの公開）は議論を継続させ令和6年度の開催を目指し取り組んでいく。

2. ジャパンショップ2024他、展示会への出展

POY受賞製品の発表の場は今後も必須と捉えており、ジャパンショップ委員会とも連携し取り組んでいく。以外の展示会出展においても条件次第で検討する。

⑦ 空間委員会（委員長：谷尻 誠）

以下を活動方針とする。

1. 年鑑刊行は51冊目に入る。ブックデザインは引き続き林琢磨氏に依頼、今後巻頭エッセイ執筆者などを検討する。

2. 50周年を終え、年鑑刊行の存続、団体（JCD, DSA, SDA）相互と年鑑への関与の仕方など新たな場面を議論スタートする。

3. それらの議論をJCD理事会、デザイン賞委員会、広報委員会と共有する。

⑧ 交流委員会（委員長：折原 美紀）

引き続き「JCD CYCLE」活動は、更なる深度のある情報を正会員及び賛助会員の皆様とシェアしつつ進めて参りたいと思っております。また「世界の今を知ろう。大陸リレー女子会」も「世界の今を知ろう。大陸リレー」と名を変え、海外で活躍するクリエイターの方々と情報交換できる場

を作っていこうと思っております。

⑨ Japan Shop 2024 JCD ブース実行委員会（委員長：剣持良美）

実施時期：2024年3月を予定（JAPAN SHOP 2024開催時）

実施条件：日経新聞社より出展場所無償貸与、協力金を受領

実施内容：「(仮称)日本の空間デザイナー〇〇名」正会員30名の作品展示

「(仮称)日本の空間デザイナー〇〇名」冊子製作・販売

「デザイントーク15」参加デザイナー15名によるデザイントーク+配信

「PRODUCT OF THE YEAR」入賞品の展示

「PRODUCT OF THE YEAR」全受賞製品プレゼンテーション+審査員対談

実施目的：JCD活動規模及び認知度向上、商環境デザインの重要性の再認識を促す

事業予算：約8,350,000円（税込）

計画概要：実行委員メンバーは2023年と同様とする

委員長 剣持良美

副委員長 木村倫香・戸矢崎弘美・羽隅斉明・村上敦

委員 斎藤 忍・大西 亮・松田好且・奥 俊介・藤原 巧・他

「(仮称)日本の空間デザイナー〇〇名」

全国支部より10名以上のデザイナーを選出し、残〇〇名は活躍中の正会員を実行委員会にて選出。JPSを通じて全国に発信、JCDの活動規模及び、知名度向上とともに正会員の増強を図る。

「PRODUCT OF THE YEAR 2023」

プロダクトオブザイヤーの入賞製品をJPSを通じて全国に発信、POYの知名度向上とともに公開への準備と賛助会員の増強を図る

## (2) 支部統括部

(部長：小田秀樹)

- 1) 今期も全国支部長会議をZoom会議で4月から2ヶ月毎に開始をする。
- 2) 今期は5支部開催で統一テーマに沿った「セミナー・デザイン賞パネル展・学生コンペ」を開催して他の支部長が開催支部に視察や交流会に参加して情報交換をする。  
\*令和5年度は沖縄支部・中国支部・中部支部・関東支部・東北支部で開催する。
- 3) 今期もリアル全国支部長会議を開催する。  
\*開催支部は東北支部を予定している
- 4) 今期も支部長会議で情報交換とJCD活動方法のアドバイスや会員増強の戦略など

と広報活動を積極的に進めていきます。

① 北海道支部（支部長：高橋 恵）

今年度の活動方針

「デザインの必要性和ネットワークの大切さを JCD の活動を通して広めていこう」

支部の活動が活性化されれば自ずと会員増強につながります。

参加を促すマメな声かけを行い、会員同士の横のつながりの強化、賛助会員とのつながりの強化、他団体との交流など北海道支部のデザインの活性化を目指してまいります。

北海道支部総会

【概要】 令和 4 年度活動及び収支報告、令和 5 年度活動計画、予算（案）承認など

【日程】 令和 5 年 4 月下旬 場所、日程未定

運営会議

【日程】 5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月予定

全国総会、デザインキャンプ、SODA、アワードの打合せ

デザインキャンプ

【日程】 8 月 26 日 27 日

場所未定

今年は夏のデザインキャンプを復活させます。

Soda in 桑園小学校

【日程】 11 月、12 月 3 回の授業を行います。

北海道のデザイン 4 団体合同のクリスマスパーティー

【日程】 12 月

北海道インテリアプランナー協会。北海道インテリアコーディネーター協会 北海道デザイン協議会 JCD 北海道支部との 4 団体合同のクリスマスパーティーを今年は復活させます。

場所未定

北海道支部アワード&パネル展

【日程】 2 月上旬 場所 地下歩行空間 チカホにて

鍋塾

【日程】 2 月上旬 アワードの打ち上げ、懇親会と兼ねて。

北海道支部のバンドが立ち上がったので今年は是非関東支部のバンドと一緒にイベントをやりたいとの要望が出ております。宜しく願いいたします。

②東北支部（支部長：大塚真司）

【今年度の方針・目標】

- ・東北支部としてのJCD活動の再探求。

この3年間コロナの影響により、支部活動がほとんど出来ていない状況を、今年度はコロナ対策をしながら創意工夫をして取り戻して行く。特色ある支部活動を模索しながら、今までと違った活動を社会の変化に対応した形で行って行く。

【主な活動スケジュール】

- 4月 東北支部役員会
- ・令和5年度活動計画
  - ・令和4年度収支報告
  - ・Soda 実行委員選定
  - ・全国総会東北開催の準備委員選定
- 6月 東北支部定時総会
- ・地区長会議
  - ・通常総会（収支報告・活動計画・予算案等の承認）
  - ・賛助会員企業、商品PR
  - ・勉強会（会員に依るデザイン発表会）
  - ・懇親会
- 7月 東北支部ゴルフコンペ
- 8月 ビアパーティー開催（DSA・SDA 共催）
- 9月 仙台市「OGATAYAMA」視察
- 10月 デザインキャンプ及び賛助会員企業・商品PR会
- 11月 Soda ワークショップ説明会
- Soda ワークショップ開催（山形市内の小学校）開催日未定
- ・懇親会
- 12月 日本空間デザイン賞 東北支部展示会開催（JCD・DSA・SDA 共同開催）
- ・東北工業大学一番町ギャラリー
- 1月 デザイナーセミナー

③ 関東支部（支部長：木村倫香）

■研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、下村牧子副委員長

- ・4月下旬の鈴木紀慶さん（建築ジャーナリスト）様を1回目のパネラーとして 活動をコンスタントに進めていく方向で考えております。（3カ月に1回程度、年間4回）

また、パネラーの意向もありますが、引き続き『のれん会』とのコラボレーションは進めていく予定です。

- ・デザイナーさんの講演を主に考えてきましたが、幅広い分野から検討し パネラーを検討していくことも重要かと考えております。

■支部賛助委員会：品川正之委員長、原康喜副委員長、松田好且副委員長、藤原巧副委員長、棟方義雅副委員長、藤光祐副委員長

原則月1回の委員会を開催し、下記掲載の活動目標の推進を図る。

- ・関東支部正会員及び賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図る。
  - 正会員の委員会への参加要請、本部賛助委員会、Soda委員会への協力等。
  - 交流を促進するための恒例の親睦イベントを企画する。  
(熱海花火会、BQQ会、ボーリング会等)
- ・賛助会員のビジネスに寄与できるイベント等の企画をする。
  - トクトーク、ノレンカイ、開催について研究セミナー委員会と協議検討する。
  - ノレンカイとしてのユーチューブチャンネルの充実を図る。
  - ホームページ賛助企業ショールームマップに新規会員の情報を追記する。
- ・賛助会員の意見を集約し、協会に意見具申する。
- ・関東支部の他委員会と連携して、関東支部のイベントのサポートにあたる。

■広報委員会：大滝道晴委員長

- 1) 機関誌の発行は年3回、各20ページ立て4c印刷900部発行
- 2) あと1年紙ベースでの発刊の後、WEB版に移行予定(年に何回等検討)

■メディア委員会：水谷晶人委員長、中村茂雄副委員長

- 1) 関東支部イベントの情報発信を行う。
- 2) 関東支部賛助会員企業マップを活性化を推進する。
- 3) 上記のコンテンツを「JCD関東支部 Face bookページ」から「JCD関東支部ホームページ」への誘導へ役立てる。
- 4) 関東支部新規会員の紹介方法の検討を行う。

■交流委員会：折原美紀委員長、村上敦副委員長

- ・本部事業「JCD CYCLE 活動」と合同で月一回の勉強会を引き続き実施。
- ・夏にもパーティーを開催できるように企画。準備致します。
- ・各関東支部イベントのフォロー等

■特別委員会：星明臣委員長、香野明穂副委員長、山岸布美副委員長

香野、山岸両会員が、当委員会の副委員長に就任しました。

次年度は、コロナの縛りも取れる見込みなので、海外へ目を向けていきたいと考えています。



支部会員の皆さまからの要望などを吸い上げて魅力ある企画をと考えております。

④ 北陸支部（支部長：木村嘉秀）

総会の準備などで北陸メンバー内の繋がりや仲間意識が大きくなってきました。

新メンバーも協力的です。今後はただ人数を増やすのではなく、コアメンバーと一緒にやっていけるメンバーを増やす事に尽力したいと思います。

また、他支部のイベントやセミナーにもメンバーと一緒に出かけ、他支部との交流も計りたいと思います。

令和5年

●5月26日～28日 JCD総会 IN 北陸

富山開催 毎月北陸支部メンバーにてミーティング開催

現在北陸支部のメンバーと内容を詰めています。

●7月24日～28日 5DAYS 合同デザインインターンシップ開催予定

コロナも収まるでしょうし今度こそ開催したいです。

●8月6日（日） 立山日帰り登山ツアー開催予定

※他支部の方も5日（土）から前入りすれば日曜日の日帰り立山登山できます。

夕方には富山駅に戻れます。ぜひ登りましょう！！

●12月中旬 JCD 北陸忘年会開催予定

令和6年

●2月初旬 空間デザインフォーラム（富山）25回目

次回はぜひSDAさんも復活して3団体開催を再開したいです

その他、

今年は他支部イベントへの参加をしていきたいと思います。

⑤ 中部支部（支部長：鳥居佳則）

今期は全国支部のデザインフォーラムに積極的に参加することを目標とする。

全国支部の空間デザインに対する捉え方を学ぶことにより中部の新たなあり方を摸索する良いきっかけとし、中部ならではの中部らしい画期的なイベントを開催するよう注力していく。またデザイントークセッション「SASHIDE」の活動が増員に繋がることを期待する。

4月 支部会議（Zoom）

・第2回デザイントークセッション「SASHIDE」について

第6回「中部商空間賞」一般部門リアル贈賞式開催予定

5月 支部会議（リアル）予定

- ・第2回デザイントークセッション「SASHIDE」について
- ・支部総会について—学生によるデザインセッション開催提案
- 定時総会（北陸支部）出席予定
- 6月 第2回デザイントークセッション「SASHIDE」開催予定
- 7月 支部会議（リアル）予定
  - ・支部総会準備
- 8月 中部支部総会開催予定
  - ・学生によるデザイントークセッション開催予定
- 9月 支部会議（リアル）予定
  - ・第3回デザイントークセッション「SASHIDE」について
  - ・「中部商空間賞」学生部門について
- 10月 「中部商空間賞」学生部門 応募開始
- 11月 第3回デザイントークセッション「SASHIDE」開催予定
  - 本部理事会出席予定
  - 支部会議(リアル)予定
  - ・忘年会について
- 12月 支部忘年会開催予定
  - ・賛助会員をメインゲストとした会とする
- 1月 支部会議(リアル)予定
  - ・第4回デザイントークセッション「SASHIDE」について
  - ・デザイントリプレックス 20 について
- 2月 デザイントリプレックス 20 開催
  - 「中部商空間賞」学生部門 作品パネル展示、表彰式開催予定

⑥ 関西支部（支部長：中村裕輔）

■USD-0 大阪デザイン団体連合との取り組み（万博委員会）

■関西支部・各員会の合同委員会の実施（月1回）

■機関紙「JCD kansai」の発刊

7月20日～21日 JAPAN SHOP 大阪の協力

インテックス大阪での大阪にて初開催のジャパンショップへの協力

詳細は未定

8月 賛助会員バーベキューパーティの開催

詳細は未定

11月 関西学生シンポジウムへの参加

JID 主催 USD-0 共済 斉藤委員長が学生プレゼンのコメンテーター、  
中村が「デザインプロセス」で講演。

12月 クリスマスイベント&賛助会員新商品発表会

1月 絵馬展の開催

大阪デザインセンターにて DSA 共催にて開催予定。

1月 大阪市商店会総連盟主催 大阪市あきないグランプリ表彰式

JCD 賞の表彰

2月 修成建設専門学校 教育課程編成委員会 (卒計審査) への参加

⑦ 中国支部 (支部長: 藤坂浩匡)

中国支部の活動方針は昨年度同様「全国の JCD メンバーとの交流から商空間デザインのレベルアップへ」をテーマに活動します。コロナも収束へ向かうであろう本年度は更に活動・行動ができる年度と捉えます。富山での定時総会を始め、各支部の事業にも積極的に参加しその地域ならではの取り組みを肌で感じ、JCD メンバーとより一層深い交流をしたいと思えます。その中で仕事に対する多種多様な刺激を得て商空間デザインへの創出へ繋げてまいります。その活動が「若手正会員の増強」へ繋がり、地域へ JCD ブランドの発信を行うと共に支部内部の活性化にも繋げたいと思えます。

5 年度事業内容

- 組織改革・若手正会員の増強、賛助会員との連携強化、全国メンバーとの交流
- 例会活動・本部、支部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動計画立案。

親睦活動などに加え、正会員の近況報告にて賛助会員へ有意義な情報を発信する。

また、賛助会員によるミニセミナーと親睦懇親会の開催。

令和 4 年 4 月 21 日 中国支部総会及び第 1 回例会

[前年度事業報告・新年度事業計画発表・新組織発表] (岡山)

令和 4 年 6 月 23 日 第 2 回中国支部例会&ミニセミナー (福山)

令和 4 年 8 月 25 日 第 3 回中国支部例会&ビアパーティー (広島)

令和 4 年 10 月 20 日 第 4 回中国支部例会&ミニセミナー (岡山)

令和 4 年 12 月 15 日 第 5 回中国支部例会&大忘年会 (福山)

令和 4 年 2 月 16 日 第 6 回中国支部例会&デザイン交流会・鍋塾 (未定)

●デザイン研修

10 月 デザイン研修旅行: 10/6~9 香港・マカオを予定

●地域活動

令和5年12月2日(土)～3日(日)「第18回JCD中国支部デザインデイズ IN 広島」  
本年度は広島で開催します。昨年度に広がった大学の繋がりを更に強固なものにし、  
次へ繋がる2日間にしてきたいと思います。

学生デザインデイズ・JCD中国支部空間デザイン賞・日本商空間デザイン賞展示、  
基調講演は「JCD共通テーマ」で開催する担当の年で、より一層のJCDブランドの発信に  
なると考えます。

そして、デザインデイズを通して中国支部メンバーの結束を高めたいと思います。

⑧ 四国支部 (支部長：日下大祐)

1. 他団体、賛助会員と連携にてコラボ企画等にて魅力の有る会を目指す。
2. 賛助会員の増強を目指す。
3. 女性会員が集まりやすい環境を目指し支部の魅力を上げる
4. 地元四国の次世代が参加しやすい環境づくりと育成をめざす。
5. 上記にて正会員、支部会員あわせて30名以上、最終的には定款正会員20名以上を目指す。

事業予定

- 4月、支部例会 多度津町ツアー、お花見会開催予定
- 5月、定時総会出席
- 6月、支部例会予定
- 8月、支部例会開催予定
- 9月、支部委員長会
- 10月、四国デザインフュージョン(5団体 JCD、SDA、JIA、香川県デザイン協会 香  
川県ディスプレイ協同組合) 合同イベント開催  
椅子をテーマとしたトークイベント、学生デザインコンペ予定
- 11月、支部例会愛媛会員交流ツアー予定
- 12月、他団体交流例会開催予定
  - 1月、賀詞交歓会
  - 2月、支部例会予定 賛助会員さまセミナー予定
  - 4月、お花見イベント開催予定支部例会

⑨ 九州支部 (支部長：深町俊彦)

九州支部は、現在はZOOMとリアルの併用で定例会を開催しています。

NPO法人「FUKUOKA デザインリーグ」への参加を続けながら、社会貢献と勉強会などへの参加を  
行っていく、知名度拡大と会員増強に力を入れていきます。

九州支部の新たな事業活動の柱を作るべく活発な協議を引き続き。月一の定例会を中心に行ってまいります。

又、今後も日本空間デザイン賞パネル展の充実を図る為、他団体との協調を図っていきます。  
SODA 事業と少し趣を変えた支部ならではのデザインスクールキャラバンの早期開催を目指し、昨年は筑紫野市の教育委員長への面談を行い、今後 筑紫野市の小学校での SODA の取り組みができるよう協議をしていく旨の話ができました。また、福岡市の科学館への働きかけも行い、小学生対象で科学とデザインの括りで何か出来ないかと協議を始めました。

支部例会も、正会員と賛助会員の大きなコミュのケーションを図る場として、大変有効に活用されていますので、今後も毎月の開催を基本に行い、魅力ある九州支部づくりを行なっていきます。

#### 以下予定活動

「一年を通して、九州支部の魅力ある事業展開を図る協議を継続します。」

- (1) 4月～毎月 月例会開催（各種セミナー・勉強会・懇親会）
- (2) 5月 FUKUOKA デザインリーグ理事会及び総会参加
- (3) 6月 支部レクリエーション開催
- (4) 7月 ビアパーティー開催
- (6) 10月 出前授業ワークショップの開催  
第2回 JCD 九州ゴルフコンペ
- (7) 11月 空間デザイン賞パネル展の開催  
(JCD60周年事業・九州支部としてセミナー及び展示会を検討中)
- (8) 12月 九州支部忘年会開催
- (9) 1月 九州支部新年会開催
- (10) 2月 賛助企業ショールーム等見学及びセミナー開催

#### ⑩ 沖縄支部（支部長：山里健市）

##### ■ R5年度の活動について

1. 5年度も引続き イベントの完成度を高めて JCD の認知度UP と正会員獲得を目標とします。
2. 支部賛助会員との交流を深め 一体感ある支部を目指します。
3. JCD OKINAWA 空間デザイン賞 2023 を開催致します。
4. SODA について まだ確定してはおりませんが 1～2校の開催を目指しております。

##### ■ 主な活動計画

- 1) 4～6月 ・支部定例会の開催（4月・6月）  
・異業種交流会参加（インテリア産業協会・IC協会 他）  
・賛助委員会主催の工場見学・懇親会 等の計画～開催。

- ・ JCD 沖縄 空間デザイン賞 2023 実行委員会立上げ。
- 2) 7～9 月
  - ・ 支部定例会の開催 (8 月)
  - ・ JCD CREATERS BEACH BBQ 2023 の開催。
- 3) 10～12 月
  - ・ 支部定例会の開催 (10 月・12 月)
  - ・ JCD 沖縄 空間デザイン賞 2023 開催
  - ・ 同上 贈賞式 ～ トークイベント開催。
  - ・ トータルリビングショーへの共同参加・・未定  
(例年同様、イベント来場者の子供達と お店のミニチュア模型作り)
  - ・ JCD 沖縄 忘年会「モノズクリガンバッタ 2023」開催  
(建築・インテリア・グラフィック。各デザインに関係する個人・他団体と1年を振り返って。)
- 4) 1～3 月
  - ・ 支部定例会の開催 (2 月)
  - ・ SODA (ワークショップ) の開催。

### (3) 総務部 (部長：太細 通)

#### ① 財務委員会 (委員長：太細 通)

令和5年度予算は、事業活動収入6,202万円、事業活動支出6,126万円で、76万円(収入比率1.2%)の黒字収支計画となります。

内訳としては、本部が94万円の黒字、10支部のうち3支部が赤字、7支部は黒字ですが10支部合計では18万円の赤字の収支予算です。

昨年度は、本部は73万円の黒字予算でしたが、10支部への還付金が実質117万円増(開催が2022年度に繰り延べた60周年記念セミナー3支部への還付60万円を除く)、総会支援25万円増、再開の支部長会支援の50万円増(開催支部支援20万円、出張費30万円増)と本部支出は増えましたが、賛助会員増による会費収入増で補へ94万円の黒字予算になります。支部も還付金増等での活動の活性化しています。

また本部の収益には職員の退職給付引当金を含んでいますので、その分を見込む必要があります。

科目別に述べますと、事業活動収入において、会費収入は昨年度予算から117万円増の3,359万円。事業収入は昨年度予算に比べ629万円増予算としています。その主な理由は、昨年度より主催される日経新聞社さまに配慮いただき、Japan ShopではJCD独自のブースを設けるようにしておりますが、今年度もその造作費全額550万円を協賛いただく予定のためです。

事業活動支出においては、昨年度予算より合計 768 万円弱の増となります。これも前述の Japan Shop の造作費用 550 万円と本部・支部の研修会、講習会の活性化、及びそれに伴う旅費交通費の増が主たる理由になります。

結果、収支差額は 76 万円の黒字で昨年度の 98 万円の黒字予算より 22 万円の減になります。

また正会員の会費収入は昨年度予算と比べますと 0.8%の微減ですが、賛助会員の会費収入は約 8%強の増です。特に全国賛助会員は 110 万円増と 10.5%もの増です。

基本的に会費が事業活動の主たる源泉ですので、今後も更なる会員増強での会費収入の増を図らないかぎりはこのからの大きな事業活動は望めません。昨年度同様会員増のためには本部、支部とも留保金の活用方法などを考えていく必要があるかと思えます。皆さんで知恵を絞り会員増強を図っていきましょう。

## ② 功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

当委員会の主務は、当協会／特別功労賞表彰規定などに則り、「JCD 功労賞・支部功労賞」「評議員」「顧問・参与」の候補者を会員から募り、推薦された各候補者の貢献度などの与件を審議し、該当する候補者を、理事会に推挙します。一方、JCD への社会的認知度や、地位向上策の一環として、継続的に「国交省大臣表彰」の候補者を選考し、理事会へ推挙しております。肝要なことは、誤謬なき・適正な推挙を心がけることです。

尚、当委員会は、小坂副理事長、太細専務理事、小田理事、奥平評議員、鹿目評議員、寒川評議員、金沢評議員、星の 8 名で構成されています。

## 3. その他会務に関する事項

### (1) 功労賞表彰

令和 5 年度功労賞を以下の方に贈呈することを決定した。

特別功労賞受賞者

加藤 博正氏（関東支部）

支部功労賞受賞者

中山 眞琴氏（北海道支部）

田中 利徳氏（四国支部）

(2) 関係機関や団体との交流、その他の事業へ後援や協賛など

公益社団法人商業施設技術団体連合会や空間デザイン機構への運営参加、一般社団法人日本空間デザイン協会との協働事業である日本空間デザイン賞の推進、また新規事業及び継続して行われる各事業の後援、協賛を通じ積極的かつ実のある活動を目指す。